

平成29年度 事業報告書

29年4月1日から30年3月31日まで

特定非営利活動法人 3keys

1 事業の成果

学習支援事業では、平成29年度も引き続き、東京都や神奈川県にある児童福祉施設（以下、施設）などに入所している子どもたちや、施設を退所した後の子どもたち、計125名に対して継続的な学習支援を行いました。そのうち、計13名（高校受験9名、大学などの受験4名）が受験を目標として掲げ、紆余曲折を経ながらも無事全員が合格を果たすことができました。受験以外にも日常の学習・学校のフォローなどを通じて、学習が遅れやすい環境にいる子どもたちの支援を行いました。また29年度は施設児童に限らず、15～22歳の高校生程度の高齢児向けの無料学習拠点「COSTA（コスタ）」を開設しました。無料塾などの取り組みが広がっている中で、義務教育以降の学習支援が少ないことや、生活保護などすでに何かしら行政支援を受けている家庭の子どもたち以外への学習支援が不足していること、施設などを退所して家庭に戻った子どもたちの中退率・学業の課題が高いことから、高校生の中退予防、高卒認定や進学などの再チャレンジ支援、居場所提供などを目的とした拠点として開設しました。行政支援からも漏れている子どもたちを対象としていることから、利用ニーズのある子どもの発見や継続支援が最も大きなハードルとなりますが、他事業部や他支援機関と連携しながら支援を展開していけたらと考えています。

子どもの権利保障推進事業では、施設入所に限らず虐待や貧困などで孤立し、支援を必要としている子どもたち向けに「なやみ相談窓口」の運営と、10代向け支援サービス 検索・相談サイト「Mex（ミークス）」の全国版の運営を通じて、全国の相談できる大人が周りにいない10代への相談・支援機関への橋渡しを行いました。座間市の事件を受け、孤立した10代のオンライン支援のニーズの高さが明るみになったことも受け、当法人でもこれらの事業をより多くの10代に届けることを心掛けていきました。「なやみ相談窓口」では、昨年度の約3倍の135名の子どもたちの悩みへの相談対応・支援機関への橋渡しを行いました。虐待やいじめ、性や妊娠などの心身の悩みをひとりで抱えている子どもたちからの相談が多数寄せられました。「Mex（ミークス）」では昨年度は東京版として運営しておりましたが、東京以外の地域からの利用が見られたことなどを踏まえ、6月より全国版に対象エリアを拡大し、昨年度の約3倍の約14万人（主に10代）の利用となりました。全国にある官民65団体と連携し160つの支援サービスを掲載、延べ4258名がどこかの支援サービスにつながりました。更に厚生労働省や総務省、教育委員会などから10代の支援の現状についてのヒアリングを受けたり、孤立した10代の支援に向けた自殺対策強化月間における連携なども行いました。

啓発活動事業では座間市の事件によって孤立している10代の現状が明るみになったことを受け、主にMex（ミークス）を中心とした取材が増えました。また支援が全国に拡大したことを踏まえ、全国の支援団体との連携を深めるために、全国での講演・セミナー開催や地方紙でのメディア掲載などにも注力し、より広域での子どもたちの現状発信や3keysの認知向上をはかりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
格差の下にいる子どもたちをはじめとする、学習機会や学習環境に恵まれない子どもたちのために、学習指導を行うボランティアを育成しマッチングする事業（通称：学習支援事業prèle）	<p>1. 児童福祉施設向けの家庭教師派遣「家庭教師型プログラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に中高生向けに目標や悩みにあったボランティア家庭教師（以下、チューター）のマッチングによる派遣 ・指導開始後のチューターへの継続的なフォロー ・施設退所後の継続した学習支援 ・チューターとなるボランティア「まなボラ」の登録会開催 ・「まなボラ」のボランティア保険加入・登録情報の更新 <p>2. 児童福祉施設向け放課後教室運営「教室型プログラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に小学生向けに基礎学力の向上を目的とした学習支援 ・主に小学生向けの教室の運営及びボランティアによる学習サポート ・Salesforce.orgの社員ボランティア制度と連携した学習サポート <p>3. 高齢児向け無料個別指導「COSTA（コスト）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15～22歳の高齢児向けの学習支援拠点の準備及び開設 ・児童福祉関連施設や、定時制高校・通信制高校、オンラインでの広報活動開始 	<p>1. 通年</p> <p>2. 通年</p> <p>3. 2017年12月～</p>	<p>1. 東京都、神奈川県</p> <p>2. 東京都</p> <p>3. 東京都（新宿区内）</p>	<p>1. 常勤3名、ボランティアスタッフ19名、チューター51名</p> <p>2. 常勤2名、ボランティアスタッフ2名、チューター6名、Salesforce社員ボランティア13名</p> <p>3. 常勤3名、ボランティアスタッフ1名、チューター4名</p>	<p>1. 11児童福祉施設（利用した児童数51名）、29年度登録者参加者28名（内、登録者25名）、29年度延べ登録者数397名</p> <p>2. 3児童養護施設（利用した児童数74名）</p> <p>3. 1名</p>	10,665
子どもたちに必要な社会資源をコーディネートし子どもたちの自立及び権利保障を充実させる事業（通称：子どもの権利保障推進事業vine）	<p>1. なやみ相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談できる大人が周りにいない、主に10代のオンライン相談窓口の運営 ・メールや電話での相談および必要に応じて面会や支援機関への橋渡しなどの実施 <p>2. 10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月、東京版から全国版へリニューアルオープン ・全国の子どもの支援サービス（計65団160サービス）の掲載 ・10代向けのコラム配信 50件 ・Google、Twitter、Instagramなどを活用した10代向けのサイトの広報活動 ・利用状況の報告（第15回目 Child Issue Seminar内） ・大阪、福岡でのセミナー開催及び広報活動（第17回目Child Issue Seminar内） ・厚生労働省「自殺対策強化月間（3月）」への協力（厚生労働省のホームページでの掲載） ・LINEによる自殺相談窓口「よりそいチャット」への研修・連携協力 ・継続的なお問い合わせ対応 	<p>1. 通年</p> <p>2. 通年</p>	<p>1. 全国</p> <p>2. 全国</p>	<p>1. 常勤1名、ボランティアスタッフ2名</p> <p>2. 常勤3名、非常勤1名、ボランティアスタッフ10名、期間限定プロボノ2名</p>	<p>1. 129名（年度内、平均対応期間：14.63日/名）</p> <p>2. ユーザー数144,346名、支援機関につながった数4258件</p>	13,429

<p>日本の子どもたちの現状や、それを取り巻く社会の現状を広域的に周知するための、啓発活動及び広報活動（通称：啓発活動事業伝える・変える）</p>	<p>1. 「Child Issue Seminar」の開催 ・第15回目「医療の現場から考える子どもたちの孤立～そして大人にできること」（講師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本俊彦氏） ・第16回目「上映会～児童養護施設で育った僕が、「施設で生きてきたことの意味を問う～」（講師：映画監督 向井啓太氏） ・第17回目 「「赤ちゃんポスト」から考える10代を取り巻く現状～そして私たちにできること～」（講師：慈恵病院元看護部長 田尻由貴子氏）</p> <p>2. その他、講演・執筆をはじめとした啓発活動 ・講演回数 28回（人事院公務員研修所、日本心理臨床学会、生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合、日本フィランソロピー協会、各ロータリークラブ、各ソロプチミスト等） ・メディア掲載（執筆含む） 49回 ※以下重複あり テレビ：4回（報道ステーション、NHK「ニュースウォッチ9」、NHK「週刊ニュース深読み」、NHK「首都圏放送センター」 ラジオ：7回（放送大学、J-WAVE、ニッポン放送等） 新聞：18回（読売新聞、日本経済新聞、東京新聞、各地方紙等） Web記事：15回（現代ビジネス、Yahoo!ニュース、明治図書出版「教育zine」、ハフポスト等） 雑誌・機関紙：9回（AERA、Forbes JAPAN、学事出版「月刊生徒指導」等） ・年次報告会開催（第15回 Child Issue Seminar内） ・GoogleやFacebookを活用した広報活動</p>	<p>1. 第15回目 29/8/23（東京） 第16回目 29/11/25（東京） 第17回目 29/12/21（大阪）、30/1/18（福岡）</p> <p>2. 通年</p>	<p>1. 東京都、大阪府、福岡県</p> <p>2. 全国（東京都、神奈川県、埼玉県、愛知県、富山県）</p>	<p>1. 常勤2名、非常勤1名、ボランティアスタッフ4名、セミナー当日の運営スタッフ15名</p> <p>2. 常勤2名、ボランティアスタッフ1名</p>	<p>1. 288名</p> <p>2. 1443名（講演参加者のみカウント）</p>	<p>8,902</p>
---	--	--	--	--	---	--------------

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)